

# 緊急情報システムにおける、電話回線の有効利用システム（特許第4078327号）

## 技術的特長

緊急時の情報連絡において複数の緊急情報システムを設置している場合、各々の緊急情報システムに接続している電話を監視して、遠隔にある空き回線がある時、その空き回線を利用して緊急情報システムを動かすことができる。

## 発明の効果

空き回線を利用して緊急情報システムを動かすことにより、電話のふくそうによる影響を受けにくくできる。

## 本特許の活用用途

緊急時事故時に電話がふくそうし通信に障害が起きる事態においても、連絡を取りやすくできる。

(1) 自治体 (2) 公共インフラ機関 (3) 安全・危機管理関連産業

空き回線の利用により、緊急時事故時に  
電話のふくそうによる影響を受けにくくできる

ご相談は下記まで御連絡ください

〒319-1195

茨城県那珂郡東海村白方白根2-4

TEL: 029-282-6467

FAX: 029-284-3679

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構  
研究連携成果展開部

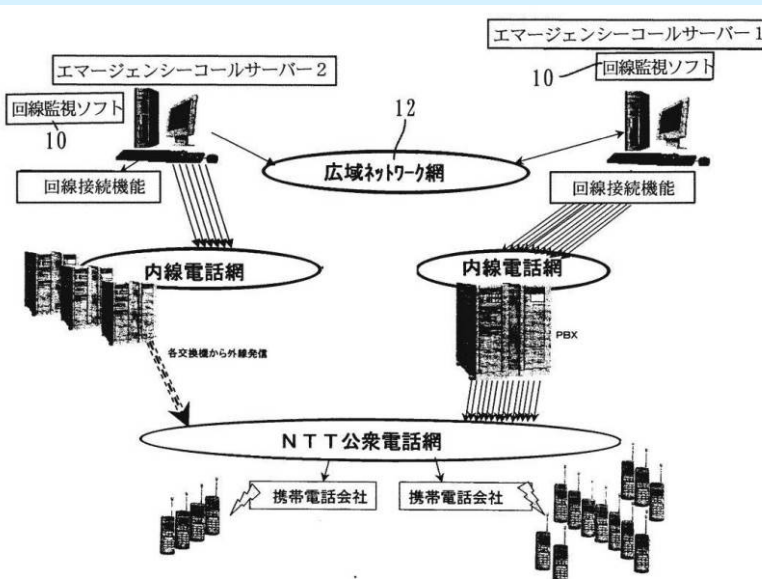
# 特 許 内 容

## 従来の問題点

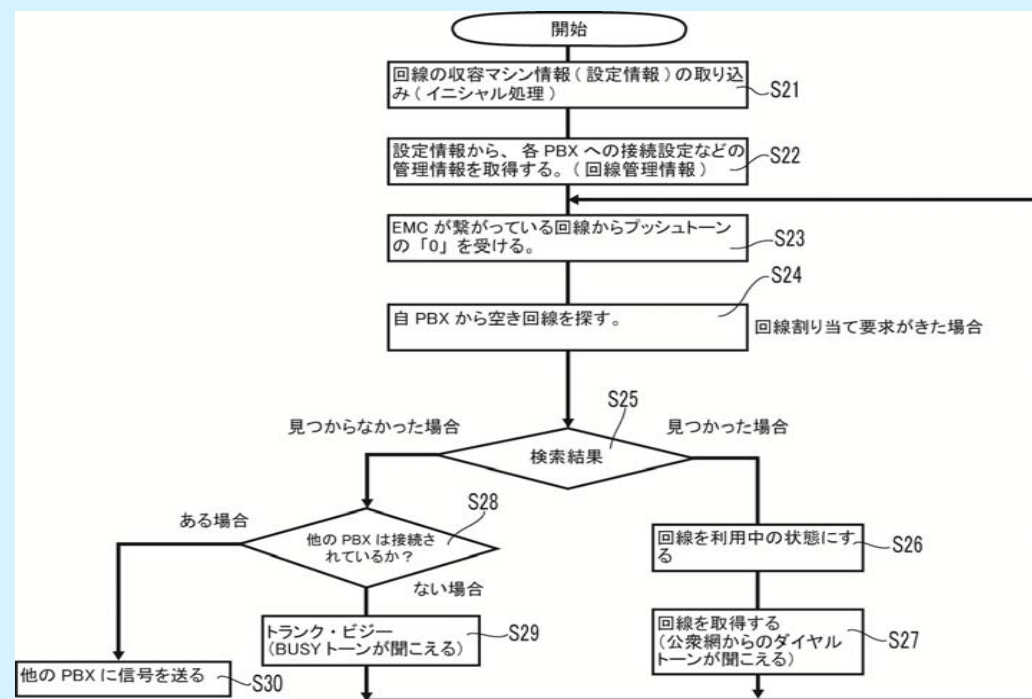
緊急時事故時には電話がふくそうするため通信障害が起き、連絡が取りにくくなる。

## 本特許の具体的内容

1. 2つのエマージェンシーコールサーバー（以下、単にサーバー）の存在と、このサーバー1,2に対する本発明の緊急情報システムの回線監視ソフトウェア10の設置。
2. 緊急通信を行う際、サーバー1に接続されている電話回線の数に限りがあるため、多数の電話回線を同時に使用する緊急通信では回線不足が生じやすい。
3. 本発明では、広域ネットワーク網12を通して、遠隔のサーバー2に接続されている電話回線の空きを調べて、空いた電話回線を利用して緊急通信を行う。



【図1】広域ネットワーク網を含むシステム全体を示す概略ブロック図



【図2】回線管理システムのフローチャート